

科目区分・分類	専門・講義	対象学科名・学年	環境都市5年	科目コード	59501541
科目名	都市計画 Urban Planning				
担当教員	柳澤 吉保				
単位数(時間数)	必修 前期 1単位 (30時間)	学習・教育目標との対応	(D-1)(D-2)		
授業の目的と概要	都市計画の意義・必要性、歴史、プロセスとフレームワークを把握する。また都市計画を構成する土地利用、都市施設計画、市街地開発事業など、都市計画事業に必要な専門用語、行政の仕組みと技術的手法についての基礎的な知識を身につける。				
先修科目	計画数理学				
後修科目					
備考	一部、計画数理学の知識が必要となる。				
	授業項目	時間	内容		
1	都市計画の概要	2	都市計画の目的と対象を説明できる。		
2	近代イギリスの都市計画の歴史	2	田園都市の内容を説明できる。		
3	近代アメリカの都市計画の歴史	2	近隣住区、衛星都市の内容を説明できる。		
4	都市計画のプロセス	2	住宅基盤の整備など都市計画事業化までのプロセスを説明できる。		
5	経済水準を考慮した人口予測	2	人口分布予測法を理解し、説明できる。		
6	コーホート法による人口予測	2	コーホート法を理解し、説明できる。		
7	市街地面積の予測	2	用途別宅地の予測手法を理解し、説明できる。		
8	都市計画区域	2	都市計画区域の決定条件を説明できる。		
<b>前期中間試験</b>					
9	市街化・市街化調整区域	2	区域区分の意義、建築用途規制などの決定条件を説明できる。		
10	地域地区制	2	用途地域制の意義と内容を説明できる。		
11	交通計画	2	交通調査および、交通需要推計の必要性とその手法を理解し、説明できる。		
12	都市交通施設計画	2	歩者分離・歩者共存の考え方を説明できる。		
13	都市交通運用方策	2	交通施設の有効利用方策を説明できる。		
14	土地区画整理事業	2	減歩、換地による住宅地区の計画について説明ができる。		
15	都市再開発事業	2	市街地高度利用による新住宅市街地開発の技法を説明できる。		
<b>前期期末試験</b>					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

<b>学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画の発祥と現代にいたるまでの流れを説明できる．</li> <li>・都市計画のフレームが説明できる．</li> <li>・地域地区制，都市交通計画，土地区画整理事業，都市再開発事業の必要性と定義を説明できる．</li> </ul> <p>これらの内容を満足することで，学習・教育目標の（D-1）及び（D-2）の達成とする．</p>
<b>成績評価</b>	<p>2回の定期試験の合計100点満点で（D-1）及び（D-2）を評価し，合計の6割以上を獲得した者をこの科目の合格者とする．各定期試験の重みは同じとする．</p>
<b>教材</b>	<p>教科書：川上光彦『都市計画』，森北出版株式会社  参考書：大橋健一，柳澤吉保ほか『交通システム工学』，コロナ社</p>
<b>オフィスアワー</b>	<p>毎週水曜日16:00～17:00，環境都市工学科，柳澤教員室．</p>